

かけはし

| 広 | 報 | 誌 |

KAKEHASHI

HIMI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

特集 腎臓病



チューリップ 氷見あいやまガーデン

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	平成25年度 新規採用者入職式	P.01
	泌尿器科医師着任	P.02
	平成24年度 初期臨床研修医 研修修了証授与式	P.03
	藤木先生の診察室から	P.04
	<特集> 腎臓病	P.05
	診療コラム	P.07
	病院★ニュース	P.08
	病院からのお知らせ掲示板	P.08
	まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

新入職者 35名

◎平成25年度新規採用者入職式

気持ちも新たに地域医療の向上に努めてまいります。

平成25年4月1日付で金沢医科大学水見市民病院に新規採用された職員と、金沢医科大学から勤務異動職員の入職式が4月1日(月)午後1時30分から病院6階多目的ホールで行われました。

今年度の新入職者は、医師5名、看護師22名、放射線技師1名、理学療法士5名、管理栄養士1名、看護補助員1名の計35名でそのうち医師、看護師各1名が大学からの異動者です。入職式は水見市長職務代理者の棚瀬佳明副市長はじめ多数の病院幹部職員列席のもと、厳かに行われました。式では高島茂樹病院長から、入職者を代表し看護師の中川真奈未さんに採用辞令が交付され、また理学療法士の山田佳秀さんが新入職者を代表して、「金沢医科大学水見市民病院の一員として、自己研鑽に努め職務に精励することを誓います。」と力強く宣誓しました。この言葉を受け、高島病院長が新入職者

に対して大きな期待と励ましの言葉を述べ入職式を終りました。

入職式に引き続き新人オリエンテーションが行われ、最初に高島病院長から「病院の概要と運営について」の講演が行われました。その後引き続き、病院幹部職員から「病院の診療組織について」や「学校法人金沢医科大学の概要と組織について」、「職業人としての健康管理について」など、金沢医科大学水見市民病院の職員として必要な事項についてそれぞれ説明がなされました。また、水見市在住で職員の研修について多岐にわたり活躍されています松崎妙子講師から、など接遇についての基本的な事柄や、「社会人として・医療人としての心構え」など社会人として必要な知識、態度を習得するための講習を受講しました。その他、病院職員として必要な内容の研修を5日間実施し新入職員は各部門に配属されました。



平成25年度

新人オリエンテーション

4月1日(月)

- ①採用手続き関係
- ②入職式(辞令交付及び病院長訓示)
- ③病院の概要と運営について(高島病院長)
- ④学校方針金沢医科大学の概要と組織について(小平事務部長)

4月2日(火)

- ①医療安全の基礎知識について(加納医療安全対策部課長)
- ②完全防止の基礎知識について(谷畑医療安全対策部課長)
- ③病院設備と防災・防犯設備について(上端事務副部長(兼総務課長))

4月3日(水)

- ①各部門紹介(7部門 部長・技師長)

4月4日(木)

- ①BLS研修(ICLS部会)
- ②接遇研修(外部講師)

4月5日(金)

- ①各部門において研修開始



看護部研修 血糖測定器操作方法

看護部 23名



左上から 井上沙織・久保晴樹・岡本実佳・庵優衣・島智子・藤田陽世
吉田裕香・永川真奈未・大谷拓史・中出泉・築山裕香



左上から 吉田雅弓(補)・斉藤優子・多知成美・中山信秀・林琴美・村井友里
齋藤千春・五十嵐敬吾・上野幸弘・稲積純・狩野亜裕美

泌尿器科医師着任

平成25年5月から泌尿器科医が常勤になりました。



泌尿器科

教授 森山 学

◎専門分野:
排尿障害・尿路結石症・
小児泌尿器科

先生から一言

排尿障害、尿路結石症に対する外科的治療および手術が困難な高齢者や肢体不自由児(者)心身障害を有する患児(者)の方々への泌尿器内科的な治療や排泄リハビリテーションなど患者さんへの負担が少ない治療を行っていきます。

■泌尿器科外来診療案内

	月	火	水	木	金	土
午前	森山	森山	森山	森山	森山	休診
午後	検査	手術	検査	手術	検査	

医師 5名



腎臓内科

助教 林 憲史

◎専門分野:腎疾患一般



一般消化器外科

医員 中嶋 和仙

◎専門分野:消化器外科一般



臨床研修医

岩田 嘉文



総合診療科

助教 村中 絵美里

◎専門分野:地域医療



一般消化器外科

医員 松江 俊英

◎専門分野:消化器外科一般

医療技術員 7名

理学療法士 5名 / 管理栄養士 1名 / 放射線技師 1名



左上から 萩原環美(理)・小松謙太(理)・山田佳秀(理)・堀内敏希(理)
中嶋和平(理)・中村春香(管栄)・松岡皓之(放)

◎平成24年度 初期臨床研修医

研修了証授与式

平成24年度初期臨床研修医の研修了証授与式が、平成25年3月27日（水）午前8時45分から当院6階多目的ホールにおいて行われました。

2年間の初期臨床研修を終えた4名の先生方へ高島茂樹病院長から修了証が授与された後、「2年間の初期臨床研修を当院で行った経験を活かし、医者である前に社会人としてどうあるべきかを自問しながら、今後も現場では常に真摯な態度で望み、患者さんから真に尊敬される良医を目指してもらいたい。」との励ましの言葉がありました。

2年間の初期臨床研修を終えた4名の先生方からは、「様々な人々と関わりを持ち、多くのことを学んできました。個人の能力というより、日々の業務をこなし経験を積むことで知識や技術が蓄積されていくのだと思います。また、人に教えることで自分もより理解が深まります。後輩に教えられるように自分も努力し、刺激を受けることで共に成長しあえる雰囲気がとても魅力的でした。今後も患者さんを

はじめとして、自分を高めてくれた全ての人々にいつか還元できるように日々努力していきます。」との言葉がありました。

授与式終了後には、列席者全員による記念撮影を行いました。

2年間の初期臨床研修を終えた2名の医師が、当院の一般消化器外科で後期臨床研修を引き続き行うこととなりました。



研修病院としての特徴

金沢医科大学氷見市民病院は大学病院の機能を持つ地域の中核病院として、一般・救急医療はもとより高齢医療、へき地医療、リハビリ医療に力を入れると共に、がんや心臓病の高度専門医療を行っている病院である。

斎藤人志臨床研修センター長からの一言

当院での研修の特徴は、研修医同士が相互間の協力・援助を保ちながら切磋琢磨の仲と成り得るように、各診療科間に隔たりがない少数制でオールマイティな診療・研修が出来るカリキュラムを組んで行っています。

また、本学では建学の精神として「良医を育てる」「知識と技術を極める」「社会に貢献する」を掲げています。この精神にもつき金沢医科大学氷見市民病院においても、病気を磨きながら良医として成長してもらう教育研修を行っています。



■ 研修協力病院一覧

① 金沢医科大学病院

〒920-0293
石川県河北郡内灘町大学1-1
☎076-286-3511

② 厚生連高岡病院

〒933-8555
富山県高岡市永楽町5-10
☎0766-21-3930

③ 公立穴水総合病院

〒927-0027
石川県鳳珠郡穴水町字川島タ-8
☎0768-52-0511

藤木先生の
診察室から

小児科科長・講師

藤木 拓磨

TAKUMA
FUJIKI



はしないよう心がけていますが、各種検査を身近に行える病院の利点を活かし、必要と判断すれば、積極的に検査を取り入れ、より確かな診断・治療を行うようにはしています。神経疾患や心疾患などで専門性の高い診療が必要な場合は、適時、高次医療機関へご紹介しています。

予防接種・乳児健診も行っています。とくに、予防接種については、近年、接種項目が大幅に増えたため、スケジュールを組むのも一苦労です。「次に何を、いつ打てばいいのかわからない」という親御さんも多いことと存じます。ご相談に応じていますので、お気軽にご利用ください。なお、当科では、同時接種も行っています。内科や脳神経外科との混合病棟ではありませんが、入院治療も行っています。時間外診察は行っていませんが、小児の救急車に対しては、24時間体制で対応しています（他業務との兼ね合いで月に数日、対応できない日・時間帯があります）。

「入院はしたくない、できない」入院しても、できれば短期間で退院したい」：近年、感染症、喘息領域で小児用の良い薬が増えてきたため、このような声にもある程度応えることができるようになりました。患児家族の背景に配慮した医療をできるだけ提供したいと思い、実践しています。

私たちは、地域に根ざした小児科として機能していきたいと考えています。氷見にも小児を診てくださっている診療所の先生が多くいらっしゃいます。チームワークでうまく連絡を取り合いながら、氷見の子どもたちが、ここに住んでいてよかったと思えるようになってほしいと願っています。

氷 見市の毎月の出生数をご存知でしょうか。おおよそ毎月25人前後、年間300人ほどが、新たな氷見市民として生まれています。氷見の小児医療を支える一隅として、身近な存在でありたいと思っています。

外来診療は、小児科領域全般にわたり、最初の窓口として対応できるように努めています。不要不急な検査・処置

責任が重く大変な部分もありますが、お子さんを相手にしているということで、小児科には明るい部分があります。毎日の診療をしても、お子さんと笑い合える場面があります。医療の中に垣間見られる明るさに魅かれ、またそれが、私たちの活力の源にもなります。そこにはもちろん、お子さんの病気をよくしたいという強い願いをもった親御さんがおられます。子どもを中心にして、親御さんと私たち医療者が一緒に、和やかに、子供たちの未来のためにがんばるという楽しさが、小児科にはあるのだと思います。一人医長体制のため至らぬ点はありませんが、精いっぱい、心の診療を心がけています。

藤木 拓磨 ★ 略歴

- ◎2001年 金沢医科大学卒
- ◎日本小児科学会小児科専門医
- ◎日本腎臓学会腎臓専門医
- ◎日本臨床腎移植学会腎移植認定医



特集

腎臓病

Kidney disease

腎臓のはたらき

わ たしたちの体には左右2つの腎臓があります。場所は後腹膜と

いって、ちょうど腰骨の左右あたりに位置するため、腎臓病では「腰痛」と感じる場合があります。腎臓の働きとして「尿を作る」ことはよく知られていますが、この尿を作る過程で体内のミネラルや体液などの物質を一定に保つように整えています。すなわち、私たちの体は飲食しても腎臓の働きによって「いつも同じ状態」が保たれているわけです。具体的には、血液が腎臓を通過すると1日に200リットルもの原尿が濾過(ろか)されます。そのうち約99%が再吸収され血液中に戻り、最終的な尿量はおよそ1.5リットルほどまで濃縮されます。このような調節機構によって、飲み過ぎ・食べ過ぎたときは再吸収率をわずかに調節することで尿量を2倍に増やしたりして余分な物質を排泄し、「反対に食事が食べれないときには尿量を減少させて調節しているのです」。

腎臓そのものの病気

腎 臓の細部の構造として①原尿を濾過する糸球体、②原尿を再吸収しミネラルなどのバランスをとる尿細管に大別されます。いわゆる腎臓病はこれらの部分の病気を意味します。代表的な病気を説明します。

「慢性腎炎候群」…主に原尿を濾過する糸球体の病気を意味します。免疫物質によって原尿を濾過するフィルター部分で炎症を起こすような状態(慢性糸球体腎炎、IgA腎症など)であったり、フィルターの電気バリアーの働きが故障した状態(微小変化型ネフローゼ症候群)が挙げられます。

「血管炎症候群」…原尿を濾過する糸球体は、体内で最も細い血管の一つです。自己免疫の異常や感染症による免疫異常などによって、この血管に炎症が起る病態が血管炎症候群です。近年、顕微鏡的多発血管炎という「高齢者に多い血管炎」の病態が明らかとなり治療方法も確立されてきました。このように日進月歩で腎臓病の診断・

治療法は研究されています。

「遺伝性疾患」…家族内で同じような腎臓病が発症する、遺伝的な腎臓病も見られます。このため、両親・兄弟・近い親類などに腎臓病を患っていないか家族歴を詳しく教えていただくことがあります。



全身の病気に伴う腎臓病

糖 尿病性腎症…糖尿病とはインスリン(血糖を下げるホルモンの作用不足により慢性的に高血糖状態をきたす病気です。慢性的に高血糖が続くことで網膜や腎臓の糸球体のような細小血管が動脈硬化になり破壊され、慢性的に進行し腎不全に至ります。日本透析医学会の統計調査では、

糖尿病性腎症は1998年以降、透析治療が必要となる病気の第1位となっており、2010年からは透析治療を行っている全患者に占める割合も第1位となっています。このような末期腎不全の予防策として早期からの血糖の正常化、厳格な血圧管理が求められます。

「高血圧性腎硬化症」…高血圧性腎硬化症には「悪性腎硬化症」と「良性腎硬化症」の2つの型があります。いずれも高血圧が原因ですが、前者は非常に高い血圧(悪性高血圧)によって臓器障害をきたし比較的短期間で腎不全に陥る病気です。一方、「良性腎硬化症」では軽度〜中等度の高血圧に長期間暴露されることにより腎硬化症に至る病気です。実は「少し血圧が高め」という状態は危険であり、透析治療の必要な病気の第3位に位置しています。高血圧を長期に治療してきた方が高齢になつてから透析導入するケースが多く、すべての高血圧患者にリスクがあると言えますので注意してください。

「膠原病・慢性炎症に伴う腎病変」…免疫の病気や感染症によって腎臓病に陥るものがあります。全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、関節リウマチ、シェアミロイド腎、C型肝炎、クワシオグロブリンによる膜性増殖性糸球体腎炎などが知られています。その他の病気や薬の影響でも腎臓病がみられるこ

血液浄化センターの

小話

現在当センターには、透析看護認定看護師が1名勤務しています。この透析看護認定看護師とは透析看護において熟練した技術と知識を得て、日本看護協会看護師認定審査に合格した者です。

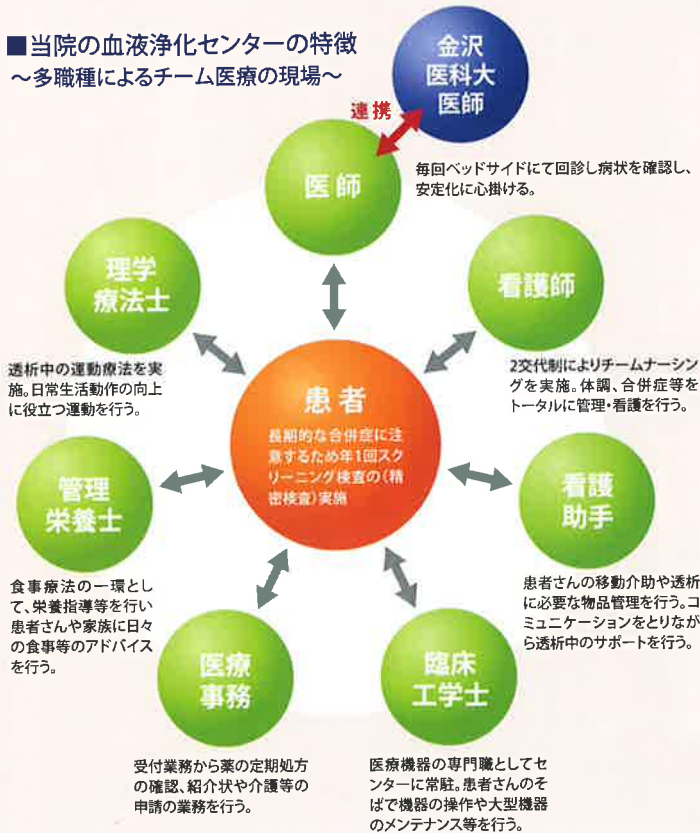
役割は、センターの看護スタッフと共に患者さんや家族、その周りに関わる人たちに、患者さんの身体のみならず心のケアも含めた自己管理のサポートに努め、より良い人生を送ることができるように将来を見据えた援助、及び自己決定の支援を行っていくことです。また、専門的知識を用いた臨床判断に基づく個別的ケアと教育、水準の高い看護を実践しています。その他看護職の方に指導や相談なども行なっています。

「血液浄化センター」紹介

当院の血液浄化センターでは20台の透析ベッド(感染対策用の2個室含む)にて毎日2クール(月水金:午前・午後、火木土:午前・準夜*土曜日は午後)の日常診療を実施しています。また、重症患者においてはICU(集中治療室)へ適宜出張して透析療法を実施しています。毎月開催される透析カンファレンスでは医師、看護師、看護助手、臨床工学士、理学療法士、管理栄養士など適宜多職種が参加し、また近隣施設の「河合内科医院」より河合医師も参加していただき、患者さんの体調管理や介護状況、日常生活動作、栄養状況についてディスカッションしています。また病診連携や最新の診療の話題についても意見交換しています。当センターの特徴について、いくつかの職種の視点で紹介します。



■当院の血液浄化センターの特徴
～多職種によるチーム医療の現場～



腎臓 臓の働きが保たれているとき…専門的な腎臓病の治療として、いくつかの慢性腎炎候群や血管炎候群では炎症を抑えるステロイド剤が必要になる場合があります。一方一般的な腎臓の治療としては十分な降圧(血圧管理)による腎臓の負担軽減減塩が重要となります。腎臓は細小血管

腎臓病の治療

とがあります。新たな検尿異常や腎機能障害などが見られる場合はかかりつけ医を通してご相談ください。

できていたため常に血圧というプレッシャーを受け続けています。このプレッシャーを軽減してあげること直接的な負担軽減が期待されます。

腎の働きが保たれなくなったとき(慢性腎不全)…残念ながらもすでに腎機能が悪化し末期腎不全に至ってしまった場合、腎代替療法を考慮することになります。腎代替療法には①透析療法(血液透析、腹膜透析)②腎移植の2つがあります。わが国では腎移植の普及が十分とは言えないこともあり透析療法が発達しています。かつて「腎不全は死に至る病気」でしたが、お

齋藤 淳史

略歴



ATSUSHI SAITO

- 腎臓内科講師、診療科長、医学博士
- 専門分野：一般内科、腎臓病、腎不全合併症

学会

- 日本内科学会 認定内科医
- 日本腎臓学会 腎臓専門医
- 日本透析医学会 透析専門医、指導医
- 日本臨床腎移植学会
- 日本感染症学会
- 日本化学療法学会
- 臨床研修指導医

そ40〜50年ほどの期間で腎代替療法が普及したことにより腎不全になった後でも腎臓病のない方と同じような時間を過ごせるようになってきました。一方、高齢者の腎不全治療について

は「加齢による腎臓の働きの低下」や「基本的な身体能力の衰え」も勘案する必要があります。介護・看護の必要性が高まっており、透析医療の現場では社会問題となっています。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意志で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかで自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞かせください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないよう配慮ください。

まちかど情報

まるまげ祭り

まるまげ祭は、毎年4月17日に行われ、かつて幸せな結婚を願った芸妓たちが、年に1度の休日に、人妻を象徴する「丸まげ」を結い、市内の千手寺の観音様に願かけをしたのが由来と伝えられています。

毎年県内外から独身女性に参加し、花笠童子を先頭に総勢100人余りが中心商店街などを通り千手寺までの約3kmを練り歩きます。桜がデザインされたピンク、青、紫の着物に赤い蛇の目傘をさした姿は何とも艶やかで眺める人々の目を惹きつけます。



今年も多数の参加応募があったこのことで、まるまげ嬢たちが街を華やかにいどる光景が期待できそうです。

エコロジーガーデン

ecology garden

ライムポトス

ライムポトスは、ポトスの品種違いで、ライムカラーの明るく爽やかな雰囲気観葉植物です。育てやすいため人気があり、蛍光灯の光で育てることができます。風通しのいい室内で管理し、水のやり過ぎと暗いところは避けてください。

植物は生活に潤いを与えるだけでなく、上手に育てると長く楽しむことができ愛着も生まれてきます。最近では観賞用以外でも、空気を浄化する働きにも注目が集まっています。皆さんも、お気に入りの観葉植物を暮らしの中に取り入れ爽やかな雰囲気を作ってみてはいかがでしょうか。



当病院の院内緑化・エコロジーガーデンは、下記のスポンサー企業の協力のもとに維持運営を行っております。



スポンサー企業

- (有)アカシア商会 ● サカ中産業株式会社 ● 株式会社ダスキンヘルスケア北陸 ● たんぼ薬局水見店 ● 株式会社つばめ交通タクシー ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社 ● 株式会社日本空調北陸 ● 株式会社ビー・エム・エル ● 水見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 北陸コカ・コーラボリテック株式会社 ● 北陸総合警備保障株式会社 ● 高岡支社 ● ホテル日航金沢 ● 株式会社山下設計 ● 米沢電気工事株式会社 ● 菱機工業株式会社 ● 株式会社ワールドシンコー

編集後記

今年は例年よりも早く桜の開花を迎え、ここ1ヶ月程の間に木々はすっかりと姿を変えました。本号が皆様のお手元に届く頃には、爽やかな新緑の季節を迎えているのではと思います。強すぎず優しい陽射しのもとで色とりどりの花や若葉が映え、鮮やかな季節の到来を感じるようになりました。近年、異常気象に悩まされることが多い一方で、こうして変わらず訪れる四季折々の自然に触れると、何だかほっとした気持ちになります。

さて、本号をもって「かけはし」としての発行スタートより1年を迎えました。たくさんの方々のご協力をいただいたおかげで、滞ることなく今日まで発行することができ大変感謝しております。

今後も地域の皆様との絆を結ぶ一助として、この「かけはし」を通じて、当院をより身近に感じていただけるような情報をお届けできるよう一層努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

金沢医科大学水見市民病院 地域医療連携室 かけはし春号編集委員 森本 さやか

■広報誌「かけはし 水見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。